

令和3年（2021年）10月13日

JST主催「サイエンスアゴラ2021」に
山形大学・東北大学・立命館大学COI拠点共同で出展
～COI若手研究者との対話で考える「ワクワクx地域資源xSDGs」～

SCIENCE AGORA 2021 2021年11月3日(水・祝)～7日(日)
(プレアゴラ) 10月10日(日)～11日(月)

Twitter Facebook JST 科学技術振興機構

Google 提供

開催概要 OUTLINE | タイムテーブル TIME TABLE | 企画一覧 SESSION | 開催よせて MESSAGE | 推進委員会 COMMITTEE

No.07-A17 11月7日(日) 17:00～

COI若手研究者との対話で考える「ワクワクx地域資源xSDGs」

Dialogue with COI young researchers on "WAKUWAKU & Local Resources & SDGs"

COI共創形成支援グループ Center of Innovation (COI) Co-creation Support Group (Yamagata University - Tohoku University - Ritsumeikan University)

企画概要

ウィズコロナの暮らしが続いている現在、私たちの生活基盤や生活スタイルは大きく変わった。しかし、コロナ禍の人流抑制を目的としたオンラインの普及により、知恵や情報の共有が人の移動なしにリアルタイムで可能になったため、いままでにない地方・都市・海外の新しいかかわり方や取り組み方が実現できるようになった。そこで本出展では、オンラインを活用し、共創によるイノベーション創出を担ってきた大学若手教員・研究者を含めたグループワークショップを通じて、東北地方から日本国内、そして世界的な視点・観点から、様々な地域資源の利活用と愛着感・手触り感、そして今後のSDGsとの関わりについて、議論し考える機会にしたい。



【本件のポイント】

- JSTは「サイエンスアゴラ2021」を令和3年11月3日(水・祝)から7日(日)の5日間、オンラインで開催します。
- 「サイエンスアゴラ2021」に、山形大学・東北大学・立命館大学COI拠点共同で企画出展し、「COI若手研究者との対話で考える「ワクワクx地域資源xSDGs」」と題して、11月7日(日)夕方5時より開催いたします。
- 本出展では、ライブ配信企画として、共創によるイノベーション創出を担ってきた大学若手教員・研究者を含めたグループワークショップを通じ、東北地方から日本国内、そして世界的な視点・観点から、様々な地域資源の利活用と愛着感・手触り感、そして今後のSDGsとの関わりについて、議論し考える機会にしたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。

【概要】

JSTは「サイエンスアゴラ2021」を令和3年11月3日(水・祝)から7日(日)の5日間、オンラインで開催します。山形大学は、東北大学・立命館大学COI拠点共同で企画出展し、「COI若手研究者との対話で考える「ワクワクx地域資源xSDGs」」と題して、11月7日(日)17時より開催いたします。

文部科学省のセンターオブイノベーションプログラム(COI)内で活動している構造化チーム若手部会「学生&若手・共創支援グループ」の取り組みとして、共創によるイノベーション創出を担ってきた大学若手教員・研究者を3名お招きし、グループワークショップを通じ、東北地方から日本国内、そして世界的な視点・観点から、様々な地域資源の利活用と愛着感・手触り感、そして今後のSDGsとの関わりについて、議論し考える機会にしたいと考えております。ライブ配信型での開催になりますので、ぜひご参加よろしく申し上げます。

【登壇者プロフィール】

本出展では、以下の4名にご登壇いただく予定です。また、4名の登壇者の他に、関連の研究や取り組みをされている方々にもご登壇いただき、ポジショントークとディスカッションを実施する予定です。

登壇者プロフィール



土屋 みなみ Tsuchiya Minami

NPO法人AYINA(アイーナ)<https://ayina.org/>、筑波大学非常勤講師、学校法人九里学園高等学校非常勤講師、インフィニティ国際学院研修コーディネーター、大分県立芸術短期大学招聘講師

持論は「東北とアフリカは自然、食べ物、心の豊かさなどが共通している」。両者のポジティブな面を発信し、気軽な地方創生・多文化共生の機会を創出することを目指す。5大陸28カ国に上陸経験あり。



鈴木 杏奈 Suzuki Anna

東北大学 流体科学研究所 助教

専門は、地熱エネルギー等、地面の下の流体科学。自然も人もみんながwaku2する社会を目指しています。



高澤 由美 Takasawa Yumi

山形大学 大学院理工学研究科 助教

地域が持続可能であるためには？“ちょうど良い”心地よい暮らしができる場であるためには？という意識のもと、都市計画学のアプローチを基盤に研究活動をしている。



有福 英幸 Arifuku Hideyuki

株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役社長

セクター横断の対話と協業の場「フューチャーセッション」を提供し、よりよい地域や社会の構築を目指しています。つくりたい未来は、次世代が今よりもよくなる可能性を感じられる社会。

【開催内容】

本出展は、コロナ禍ということもあり、zoomを活用したオンライン形式（ライブ配信形式）での出展となります。共創によるイノベーション創出を担ってきた大学若手教員・研究者を3名お招きし、グループワークショップを通じ、東北地方から日本国内、そして世界的な視点・観点から、様々な地域資源の利活用と愛着感・手触り感、そして今後のSDGsとの関わりについて、議論し考える機会の120分にしたいと思います。

ぜひ、ご参加ください。

- ・サイエンスアゴラ2021のURL

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2021/>

- ・事前登録方法

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2021/participate.html>

【サイエンスアゴラとは？】

サイエンスアゴラとは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。サイエンスアゴラは、異なる分野・セクター・代・国籍を超えた関係者をつなぎ、さまざまな人たちが各地で主体的に推進する活動の広場です。この広場に集まる人たちが多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。

お問い合わせ

山形大学学術研究院 助教 原田知親 (情報・エレクトロニクス専攻/山形大学 COI 拠点 若手連携担当/JST 構造化チーム若手部会「学生&若手・共創支援グループ」)

TEL 0238-26-3275 メール tharada@yz.yamagata-u.ac.jp